

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、13～19℃台を示し、やや高めでした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網――西彼地区では、マイワシが1日1統当たり33トンの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。北松南部地区では、マサバなどが1日1統当たり29トンの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。
- イカ釣――スルメイカは対馬東岸地区では、1日1統当たり108kgの水揚げで、前週の2.3倍（前年を上回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり253kgの水揚げで、前週の5倍（前年を上回った）。ケンサキイカは対馬東岸地区では、1日1統当たり0.2kgの水揚げで、前週の20%。壱岐勝本地区では、1日当たり5kgの水揚げ（前年並み）。
- 定置網――五島魚目地区では、ブリなどが1日1統当たり447kgの水揚げ。対馬西岸地区では、ササイカなどが1日1統当たり25kgの水揚げ。対馬東岸地区では、ケンサキイカなどが1日1統当たり89kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、ブリが1日当たり437kgの水揚げで、前週を上回った（前年を上回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期(2/19～2/24の6日間)の沖合イカ釣(船凍船)は、日本海、主に対馬沖、見島沖で操業及び調査を行った。

沿岸イカ釣(氷蔵船)は、山口沖、山陰沖等で試験操業が行われた。

鳥取県西部(沖合船)は、3日延9隻、総計249箱、1航海最高56箱、平均27.7箱。スルメイカ(20～25入)195箱、ヤリイカ(2～4立)54箱の混獲となった。

(漁業情報サービスセンターより)

〔お知らせ〕

漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>